

mercari R4D Lab ・ 大阪大学協働研究所



大阪大学
ELSI

mercari R4D Lab

大阪大学ELSIセンターの紹介・ 協働研究所設置の趣旨説明

大阪大学ELSIセンター センター長
岸本 充生 (KISHIMOTO, Atsuo)



大阪大学 社会技術共創研究センター
Research Center on Ethical, Legal and Social Issues



2020年4月設立、 周年を迎えました。

大阪大学 社会技術共創研究センター (通称、ELSIセンター)

Research Center on Ethical, Legal and Social Issues <https://elsi.osaka-u.ac.jp/>

3つの部門と4つの機能

総合研究部門

方法論やガバナンスの在り方等について**総合的に研究**する。

実践研究部門

学内・学外の研究者・事業者と連携し、**共同研究プロジェクトを形成・推進**する。

協働形成研究部門

学外のステークホルダーをつなぎつつ、幅広い市民の声を**産業界・行政機関等につなぐ**。

ELSI人材の育成

3部門が連携し、ELSI教育プログラムを開発。**ELSI人材を創出**し、社会の中での定着を目指す。

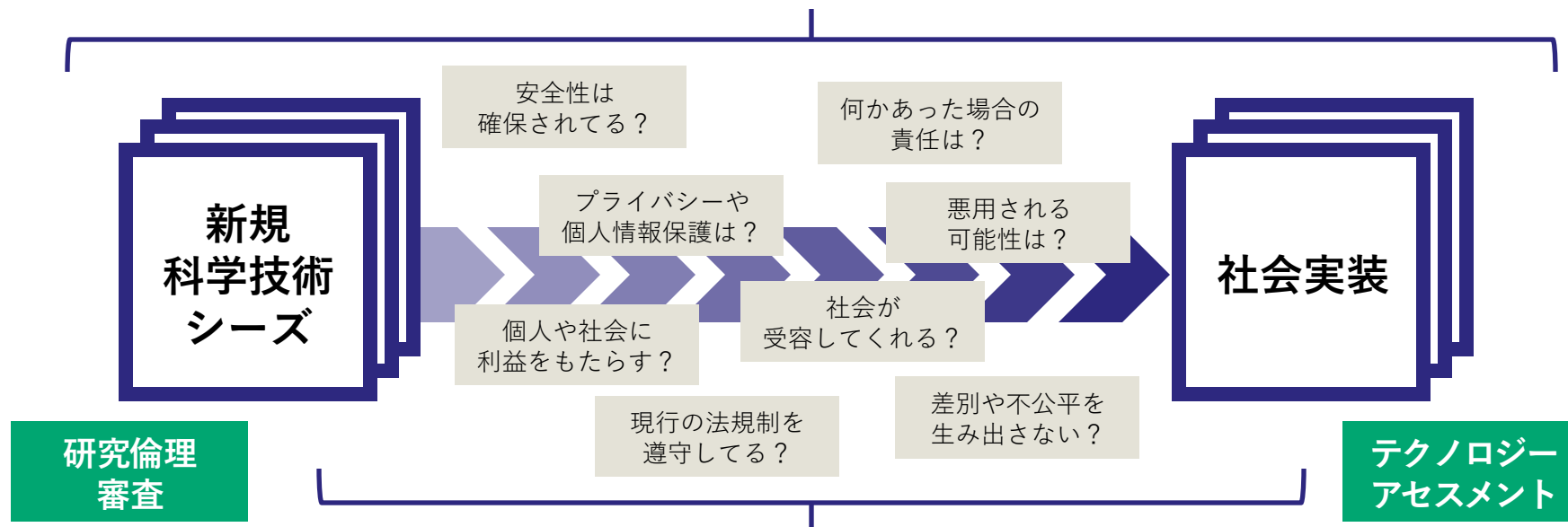
3部門長 + 約20名 (専門分野も人社系を中心に多様)

(2025年7月現在の専門分野)

情報通信法、ロボット法、AIと法、憲法学、リスク学、倫理学、情報法、応用倫理学、デカルト哲学、情報の哲学、科学コミュニケーション、科学技術社会論、大学・地域連携、大学のアウトリーチ活動

技術と社会の間の ギャップを埋めるノウハウの研究開発

②責任ある研究・イノベーション (RRI : Responsible Research and Innovation)



①倫理的・法的・社会的課題 (ELSI: Ethical, Legal and Social Issues)

「ギャップを埋めるノウハウ」のことを「③社会技術」と呼ぶ

「ELSIセンター」の広がり

大阪大学 社会技術共創研究センター (ELSIセンター)

- 2020年4月設立
- 学内組織として単独設置。ELSI/RRIへの取り組みに特化した拠点として日本で最初に設立された組織であり、“ELSI Note”などの提言の作成・発信や、企業連携研究の実践も活発。

神戸大学 ELSIプロジェクト/センター (KOBELSI)

- 2023年5月設立 **[新設]**
- デジタルバイオ&ライフサイエンスリサーチパーク: DBLR (国立大学経改革促進事業) の体制下に、もともと組織されていた倫理創成プロジェクトを位置づけ。

広島大学 共創科学基盤センター (ELSI Hiroshima)

- 2023年4月設立 **[新設]**
- 全学の未来共創科学研究本部 (国立大学経営改革促進事業) の下、社会共創基盤ユニットとして設置。

農業・食品産業技術総合研究機構 ELSIチーム

- 2021年4月設立
- 本部 企画戦略本部 新技術対策課に設置

北海道大学 人間知×脳×AI研究教育センター (CHAIN)

- 2019年7月設立
- 交差領域での新しい人間知の創出を目指す、学内共同施設として設置。脳科学・AI分野の社会実装に向けた文理融合・学際的研究および教育プログラムを提供。

新潟大学 ELSIセンター

- 2023年4月設立 **[新設]**
- 研究統括機構に設置 (研究企画URA室と経営戦略本部IR推進室を統合)。“Vulnerability”をコンセプトに、ライフイノベーション拠点と災害レジリエンス研究の融合、地域社会における課題解決を志向。

中央大学 ELSIセンター

- 2021年4月設立
- 研究開発機構 研究支援室に設置。AI・セキュリティに特化した研究開発活動を柱に、次世代人材育成も掲げる。Rome Call for AI Ethicsへの署名など、国際活動にも注力。

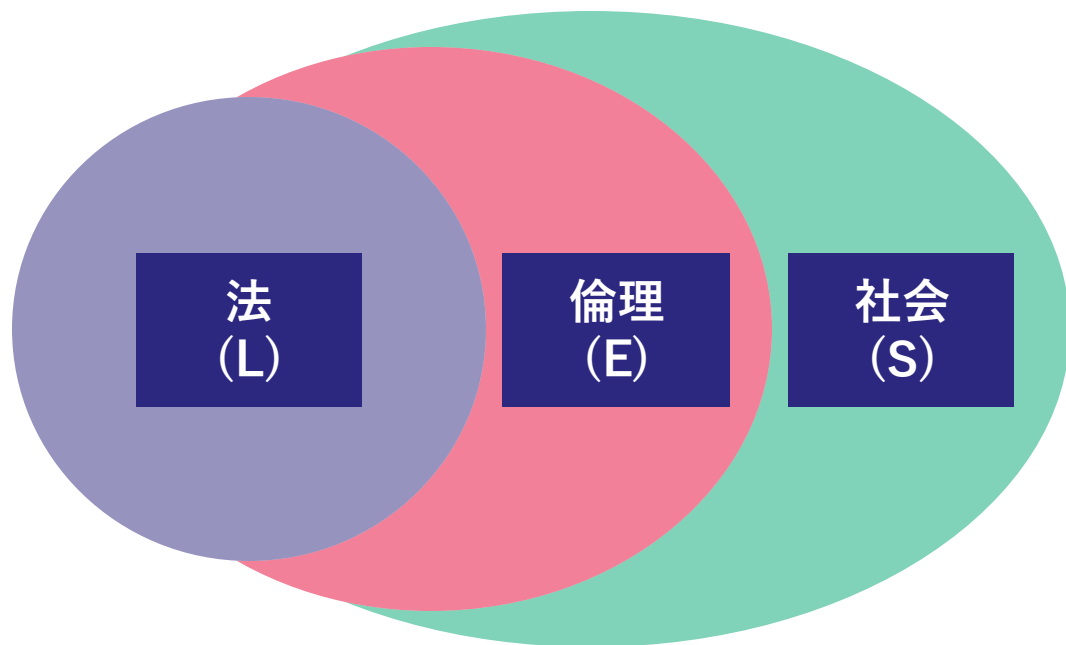
JST-CRDS加納寛之氏作成資料より抜粋 (第46回SciREXセミナー 2023年10月10日開催)
https://scirex.grips.ac.jp/events/2023/SS46_material_kano.pdf

「ELSI」というコンセプト

- 米国で1990年にスタートしたゲノム解析プロジェクトの中に「**ELSI研究プログラム**」が誕生（※当時、Issuesではなく、Implications）
ヒトゲノムが解読された社会に生じるELSIを予想し、あらかじめ備えることを目的に始まり、その後の「遺伝子情報差別禁止法」の制定につながった
- 外部向け研究予算の3%（のちに「**少なくとも5%**」）がELSIに関する研究に割り当てられることになり、その後、複数のELSI研究拠点が設置
- 欧州ではより広い概念である**RRI（責任ある研究・イノベーション）**に発展
- 大阪大学ELSIセンターではこのコンセプトを、AIなど、**あらゆるエマージングテクノロジーに適用**

E(倫理)・L(法)・S(社会)に分けて 議論するという考え方

私たちが従う 3 種類の規範と捉えると普遍性を持つ



法(L)

倫理(E)からの不断の見直し

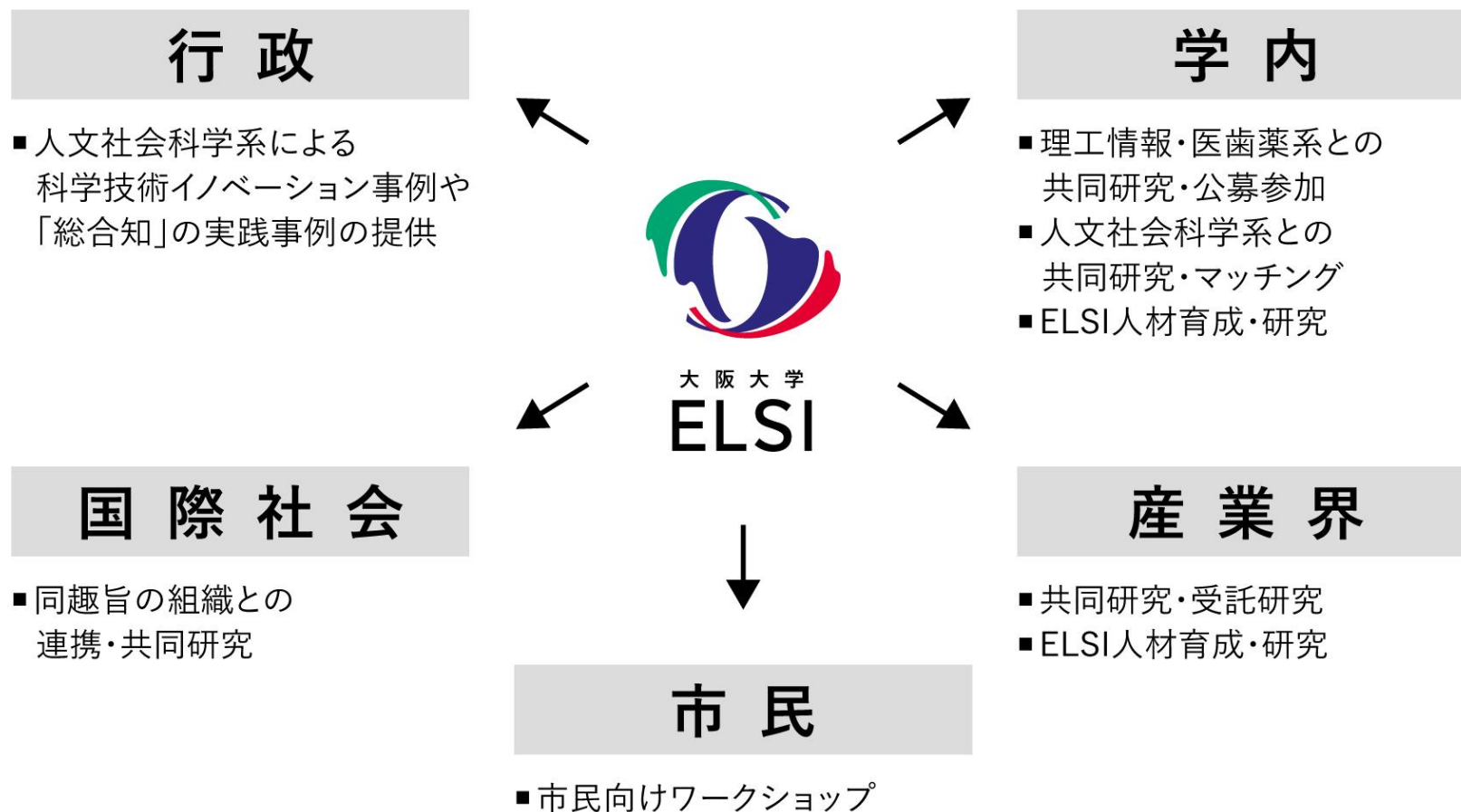
倫理(E)

社会において人々が
依拠すべき規範
安定的 法(L)の基盤

社会(S)

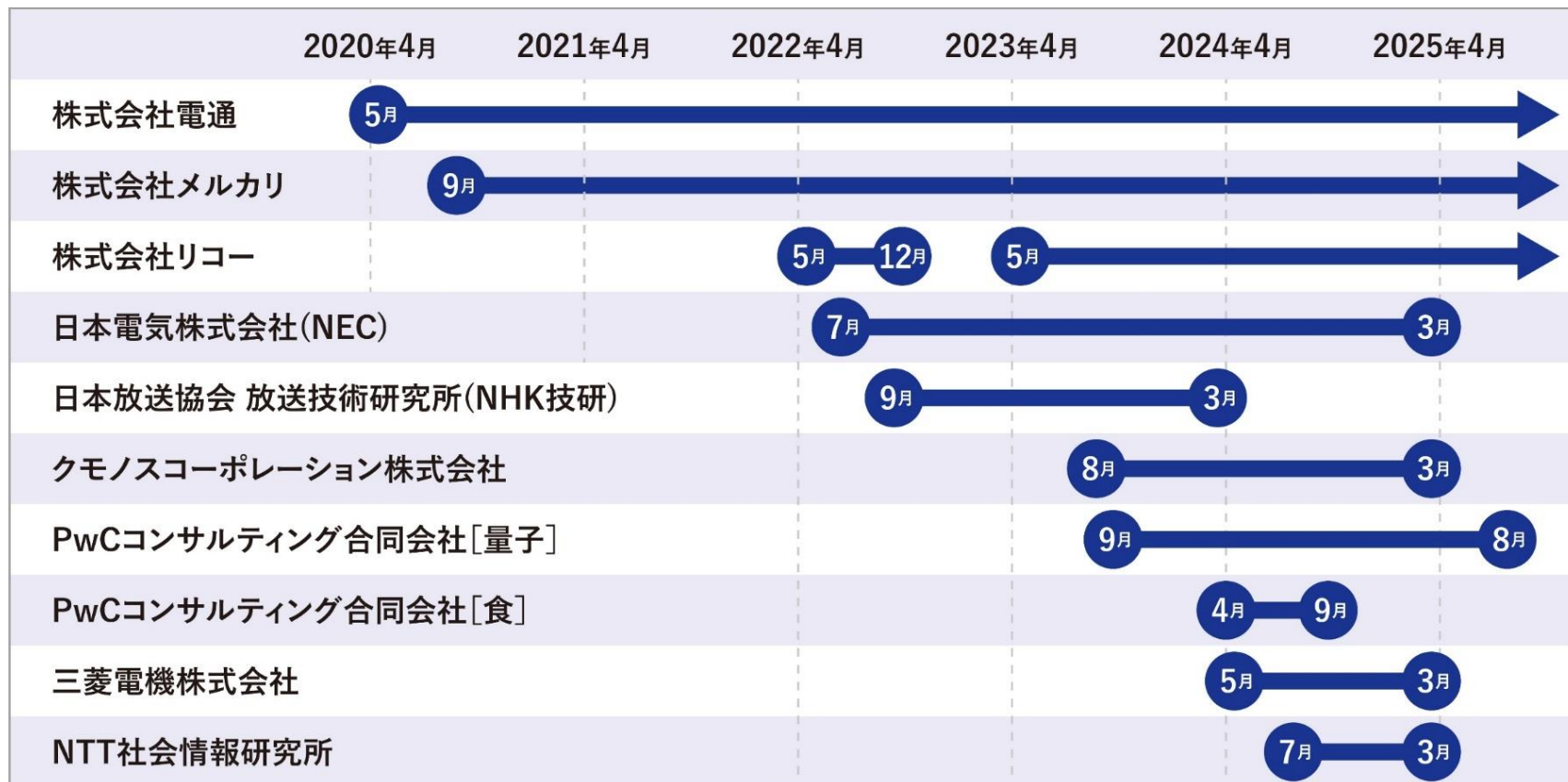
変化しやすい 不安定

さまざまな組織を「ELSI」でつなぐ

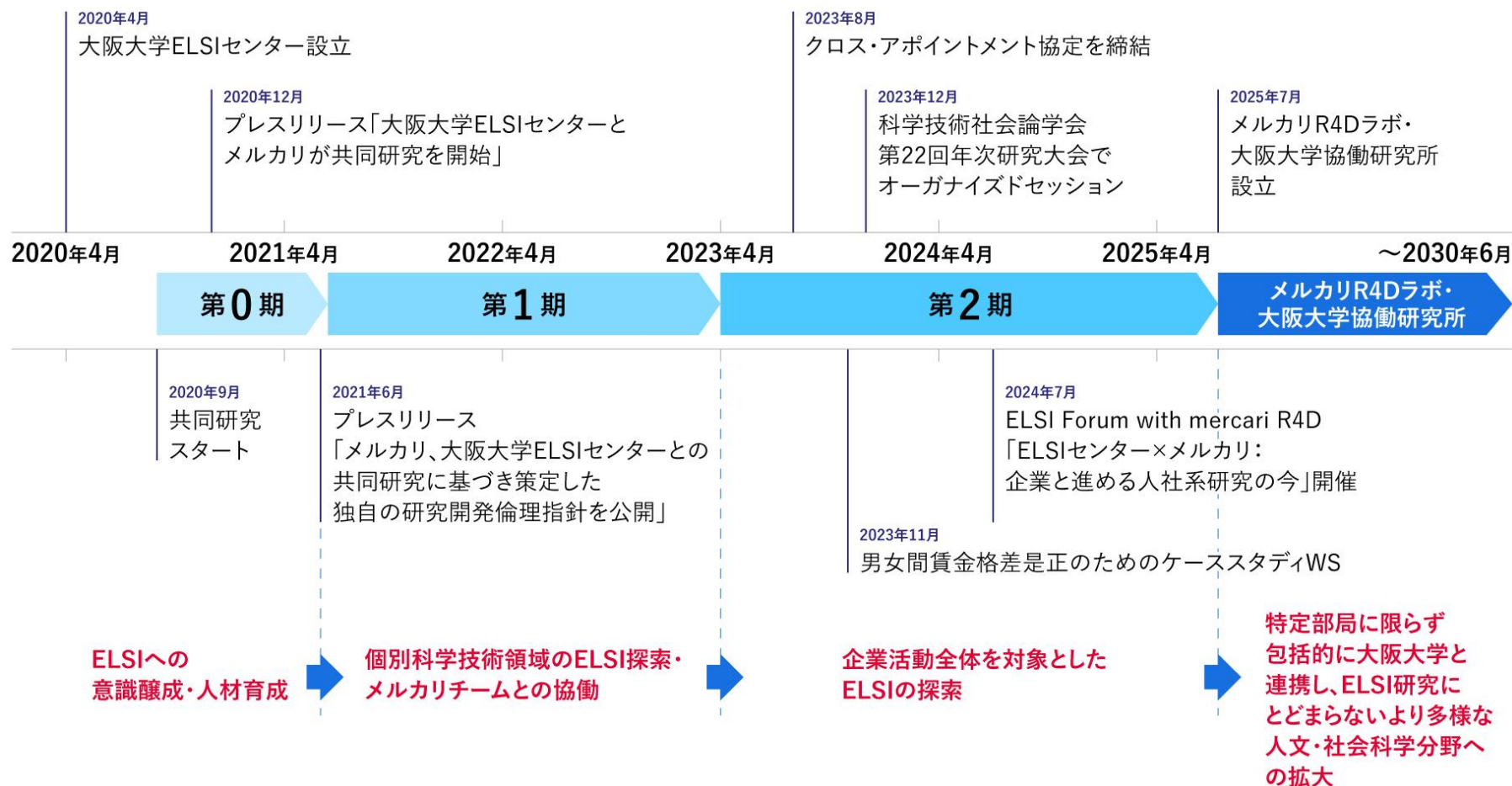


人文社会科学系の産学連携というフロンティア

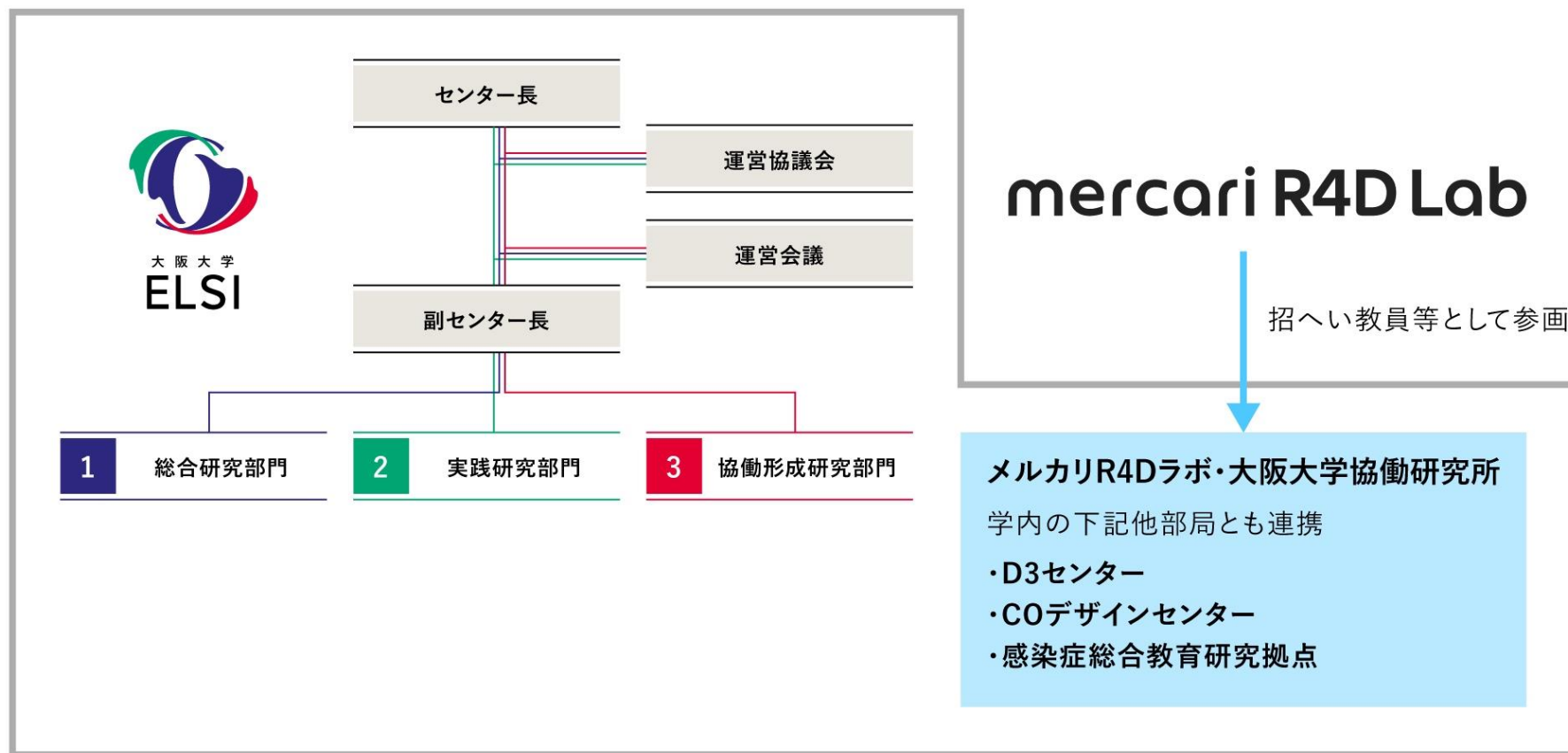
2020年4月以降、2025年3月までに 9 社（10件）の共同研究・受託研究などを実施



mercari R4Dとの共同研究の展開



メルカリR4Dラボ・大阪大学協働研究所、設立



ここまでの研究の具体事例 その1

研究倫理審査高度化プロジェクト

研究開発ガバナンスへのRRI理念の実装をテーマとする
当事者と学際的な研究者によるアクションリサーチ

ステップ1

研究開発倫理指針の改定

- ・倫理指針のスコープを「研究」から「研究開発」まで拡大
- ・「研究成果の潜在的インパクトの考慮」など RRI の観点を導入
- ・医学系研究由来の論点を IT 企業での研究開発に向けてカスタマイズ

ステップ2

アクション後の課題の再特定

- ・ナレッジの属人化・「自主性依存」のリスクを回避するには？
- ・プロセスのどこに介入すれば理念が効率的に浸透するのか？
- ・研究者への過度な負担を避けつつ、創意の発揮を促すには？

ステップ3

審査申請フォーマットの改定

- ・倫理審査申請書の記入プロセスを熟考と理念浸透の機会に
- ・案件ごとの特性に応じた記入項目による効率化
- ・企業の価値観・文化との一貫性にこだわったワーディング



mercari R4D ガバナンス担当

- ・社内情報・プロセス・文化の共有
- ・倫理審査委員会の観察機会の提供
- ・過去の倫理審査委員会の質疑記録の精査 など



理念との
整合性は？

研究者にひびく
言葉づかいって？

定例会議(隔週)

- ・課題の特定
- ・プロセス検討
- ・マテリアル検討 など

大阪大学 ELSI研究者

- ・RRI 理念のインプット
- ・国内の非医学系研究の実態調査
- ・主要海外企業の倫理人材の活用状況調査
- ・論点マップ作成 など



ここまでの研究の具体事例 その2

量子インターネットと社会をつなぐ

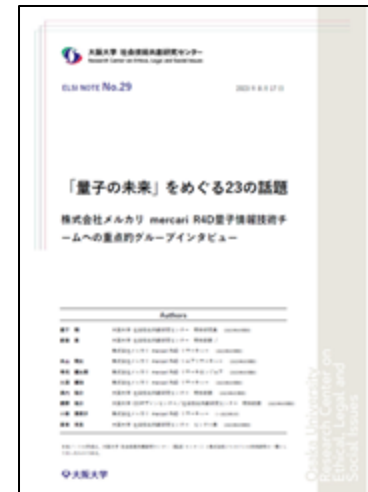
大学生を対象とした量子技術に関する 印象の聞き取り調査

- やはり量子についての科学的知識はほとんどない
- 他方「量子」に言及するスピリチュアルな言説を知り、「うさんくさい」と感じる人も



量子研究者へのインタビュー

- 人社系研究者と協働して取り組むべき論点を浮き彫りにする
- 5つのカテゴリ、23の「量子の未来」をめぐる話題を抽出



量子技術開発カードゲーム「Quantum Quest」の開発

- ゲームを通してマクロ・長期のスパンでの量子技術開発を考えることができる
- 技術開発に伴う不確実性や公平性など、倫理的観点から技術開発について再考する場をつくる



協働研究所の設立へ発展

メルカリR4Dラボ・大阪大学協働研究所

- 2025年7月1日、大阪大学ELSIセンターに設立
- 大阪大学において **人文社会科学系の協働研究所の設置は初**
- 「人文社会科学の知見を通じて、あらゆる価値が循環する社会への道を示す」
- 2025年1月30日、同時プレスリリース

Press Release

mercari R4D



国立大学法人 大阪大学
〒565-0871 大阪府吹田市山田庄 1-1
TEL: 06-6877-5111 内
www.osaka-u.ac.jp

2025 年 1 月 30 日

**大阪大学 ELSI センターに
「メルカリ R4D ラボ・大阪大学協働研究所」を設立**
人文社会科学の視点から「あらゆる価値が循環する社会」の実現へ

◇ 概要

国立大学法人大阪大学（以下、大阪大学）と株式会社メルカリ（以下、メルカリ）は、2025 年 7 月 1 日に、大阪大学社会技術共創研究センター（以下、大阪大学 ELSI センター）に「メルカリ R4D ラボ・大阪大学協働研究所」（以下、本研究所）を設立します。2025 年 1 月現在、24 の協働研究所が大阪大学内に設置されていますが、人文社会科学系の協働研究所の設置は初めてです。

人文社会科学の知見を通じて、メルカリのミッションでもある「あらゆる価値が循環する社会」への道筋を描くことを目指します。また、メルカリをフィールドワークの場として、企業活動から導かれる様々なテーマを対象にした研究を行い、得られた知見を学術的な成果として広く社会へ還元していきます。

◇ 「メルカリ R4D ラボ・大阪大学協働研究所」設立の背景

昨今、生成 AI・LLM に代表される新たな科学技術の台頭・劇的な進歩により、それらが社会にもたらす影響の予測不可能性は拡大し続けています。これに伴い、社会実装の段階において、技術的な観点のみならず、社会実装後に予期される課題やインパクトについて検証する必要性が高まっています。倫理学や法学、社会学、哲学といった人文社会科学の多様な視点を織り交ぜながら、企業側が責任を持って企業活動やサービス開発を検証していくことが重要です。

メルカリR4Dラボ・大阪大学協働研究所





大阪大学 ELSI センターは、2020 年よりメルカリの研究開発組織「mercari R4D（アールフォーディー）」と、研究活動や企業活動を対象とした ELSI（ELSI: Ethical, Legal and Social Issues: 倫理的、法的、社会的課題）に関する共同研究を進めています^{※1}。メルカリにおける研究開発倫理審査の高度化^{※2}や、AI 倫理^{※3}、男女間賃金格差是正の取り組みに関するケーススタディ^{※4}など、人文社会科学分野の研究開発を行ってきました。

この度、「メルカリ R4D ラボ・大阪大学協働研究所」では、これまでの研究をさらに発展させ、人文社会科学の知見を通じて、メルカリのミッションでもある「あらゆる価値が循環する社会」への道筋を描くことを目指します。また、メルカリをフィールドワークの場として、企業活動から導かれる様々なテーマを対象にした研究を行い、得られた知見を学術的な成果として広く社会へ還元していきます。

※1: 大阪大学 ELSI センターウェブサイト内 共創研究プロジェクト「企業における研究倫理審査や人材育成等の実践的方法論の構築」のページ

協働研究所での想定される研究テーマ



1. 価値循環に関する基礎研究

- 根源的な問いと概念の再構築
- 「価値循環学（仮）」の構築

2. 企業活動をフィールドとする研究

- 責任ある研究開発ガバナンス実装の実践研究
- ELSI人材育成・研修プログラムの構築
- CtoCマーケットプレイスの倫理
- 新規技術・サービスのELSIの探索
- 責任あるアドボカシーの実践研究

3. 研究成果を通じた社会的インパクトの実現と実現手法の研究

- アウトリーチ活動の実践とアウトリーチ自体の研究
- 人文社会科学の産学連携研究のあり方の研究

なぜメルカリ（CtoC基盤）は 人文社会科学の研究にとって魅力的か？



人の心理・行動、ルール・規範・仕組み、
そして様々な新規テクノロジーが絡むため、研究対象の宝庫

狭義のELSI研究から、人文社会科学知の社会実践へ

さまざまな組織を協働研究所でつなく

行政

- 人文社会科学系による
科学技術イノベーション事例や
「総合知」の実践事例の提供

学内

- 理工情報・医歯薬系との共同研究・公募参加
- 人文社会科学系との共同研究・マッチング
- ELSI人材育成・研究



mercari R4D Lab・大阪大学協働研究所

国際社会

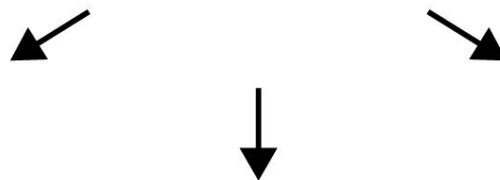
- 同趣旨の組織との
連携・共同研究

産業界

- 共同研究・受託研究
- ELSI人材育成・研究

市民

- 市民向けワークショップ



詳しくは、ウェブサイトをご覧ください

メルカリR4Dラボ・大阪大学協働研究所



<https://elsi.osaka-u.ac.jp/mercari/>